

議事録

会議名	刈谷知立環境組合中期計画ビジョン 第2回策定委員会		日時	令和6年10月18日(金) 午前10時00分から午前11時57分
			場所	刈谷知立環境組合管理棟2階 会議室
出席者	委員	中期計画ビジョン策定委員会委員 7名出席(代理出席者1名含む) / 10名		
	事務局(業務課)	業務課長はじめ7名出席		
	その他関係者	2名出席		
議 事				
<p>1 あいさつ(委員長) クリーンセンターをはじめとした組合の各施設について、長期的な計画の中で、さらなる二酸化炭素排出量の見直し等を盛り込むにあたり、現状と課題についての組合からの報告を聞きながら各委員からの忌憚のない意見をお願いしたい。</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 前回の報告 再度、事務局より説明。</p> <p>(2) 組合の現状分析と課題について 事務局、資料により説明。</p> <p>ア 施設の安定的な維持管理</p> <p>【委員】 4ページの長寿命化スケジュールに施設を50年もたせると書いてあるが、担保があるのか。リスクが高いため運営事業者からの見積もりが高くなり得る。50年もつようになるには、計画を具体化する必要がある、見直しを行う必要もある。</p> <p>【事務局】 まずは10年以内に基幹改良工事を実施する予定である。その後、機能の低下具合を見極めながら必要に応じて計画の見直しを行う予定。今は、50年を見据えながら日々の点検をしっかりと行い、維持管理していく。</p> <p>【委員】 人が点検する場合は、異常が起こった場合でないと分かりづらいことが多いため、事前に気づくための対策として、DX化、非接触型の検査方法や非破壊検査機器を用いる等して予防する方法を考える必要がある。</p> <p>【事務局】 現在、包括委託の中で事業者からの提案があり、すでにロボットカメラによる配管等の監視を実施するなど、新しい機器等を用いて施設の点検をすることになっている。</p> <p>【委員長】 実際に業務委託するまでにいろいろと試すことが大事であると感じている。例えば、焼却施設では温度管理が大切であると思うが、室温計で判断できる温度だけでなく、室内環境の温度分布や人体への影響等を分析し、得られた情報から空調環境を設定するといったように、温度計だけでなく、サーモカメラ等を活用して誰もが納得できるような見え方、見せ方をする方法もある。実際には、このような変化を見たり、データ化するには複数の技術を活用する必要があるが、技術をうまく組み合わせる方がよいと思う。本格的に日々の監視に活かす場合は、新たに機器を購入する等して大変だが、試すだけであればさまざまな方法があるので、積極的に組合からの提案や市民からのアイデアを共有し、柔軟に盛り込むことができればよい。</p> <p>イ ごみ減量化とリサイクルの推進</p> <p>【委員】 報告からは他市からのごみの搬入を防ぐためにも有料化したいことが伝わってくる。人から聞いた話だが、市外在住の娘が自分の自治体だとごみの持ち込みが有料であるため、わざわざ刈谷市内もしくは知立市内の実家にごみを持ってきてこのクリーンセンターにごみ出ししている人がいるとのこと。本人たちに罪の意識がないことに問題があり、対策を考える必要があるため、私は、有料化には賛成である。また、先日、三連休明けに施設正門前の道路の渋滞によりウォーターパレスKCに入場しづらくなっていたが、他にルートはあるか。</p> <p>【事務局】 野田新町駅方面の線路沿いを通るルートがあるが、住宅街を通り抜ける道路であり本来は望ましくない。</p>				

- 【 委 員 】 この時期は道路が混むだろうとみなさん感じながら来館するのかなと思う。ウォーターパレスKCへ向かう道路への入り方をよくできないか。
- 【 事 務 局 】 少量ごみは路線収集へ出し、大きいごみや量が多い場合に限り、クリーンセンターへ搬入するようにホームページ等で周知しているが、各々の都合もある。また、繁忙期に関わらず、正門から交差点手前まで渋滞している場合は、一部家庭用のごみにおいては、計量をパスしている。
- 【 委 員 長 】 クリーンセンター周囲の道路状況や少量ごみを搬入する市民も多い等の問題があることが分かった。クリーンセンターへの経路については分かりづらい場合もあるため、経路案内をわかりやすくするとともに、道路状況についてもリアルタイムの混雑状況を伝えるだけでなく、もう少し検討することで、いい解決方法が見出せると感じた。
- 【 委 員 】 5ページの「構成市における一般廃棄物処理基本計画目標達成状況」の知立市の目標については、令和17年度の目標が記載されておらず、令和8年度の目標については、ごみ有料化を見込んで低めに設定しているのか。また、10月の三連休明けに、クリーンセンター前の道路が渋滞しており、リサイクルプラザKCへ入場できない状況だった。パッカー車については、入場後にショートカットしてごみピットへ向かうことができるため、今後の年末年始等の繁忙期に正門近くの交差点にガードマンを配置し、パッカー車を優先して通すことができないか。
- 【 委 員 長 】 住民の利便性や繁忙期の混雑状況について、課題が少しでも解決する方向に検討できればいいと思う。
- 【 委 員 】 両市ともに一般廃棄物処理基本計画を作成しており、知立市は現行の計画を10年前に作成し、令和8年度で終わり、また作り直す。1人1日あたりの家庭系ごみの排出量については、令和8年度の目標が630g/人・日で、令和5年度の実績が576.1g/人・日（資源ごみ含む）となっており、可燃ごみだけだと488g/人・日で目標を達成しているものと思っている。一方で、リサイクル率は目標を達成しておらず、強化しないといけないと認識している。令和4年の4月に施行した「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により、市区町村はプラマークが付いていないプラスチック類も一括回収して再資源化することが努力義務となったため、知立市は令和7年度から硬質プラスチックやペットボトルを除いたプラスチックも一括回収する。また、リサイクルについては、組合の可燃ごみの布類の組成率が11.2%となっており、古布を可燃ごみにするのではなく、公立保育園、スーパーやドラッグストア等に回収ボックスを設置し、リサイクルを推進している。また、木々や剪定枝が26.5%となっており、令和7年度からリサイクルできるように進めている。再資源化できるものを再資源化して拡充し、燃やすしかできないものを可燃ごみとして出すように、現在の「燃えるごみ袋」を令和7年度から名称変更して意識啓発していく予定。
- 【 委 員 長 】 一般廃棄物の処理計画が各市で異なり、目標の区切りも異なる。処理計画は長期計画で進められているため、数値に含められる項目が異なり、直接比べられないことがある。新しい計画が立てられ、始められつつあるという状況にある。
- 【 委 員 】 直接搬入する場合は、指定ごみ袋に入れなくてよいという話があったが、一般家庭ごみは有料化しているということで合っているか。指定ごみ袋に入れるということは、袋代が有料になると思うが、搬入することで無料となるのは、おかしいのではないか。
- 【 委 員 】 知立市では、手数料条例で位置づけ、（ごみ収集にかかる手数料を含めて）ごみ袋を有料化している。刈谷市は、販売店によって値段が異なるため、有料化ではないと思う。
- 【 委 員 】 刈谷市は、ごみ袋の製造費を負担してもらっており、ごみの処理費を含んでいないという意味合いになる。
- 【 委 員 】 搬入者のほとんどが45kgというなかで、全体の搬入量と、両市それぞれの搬入量が把握できればよいのであれば、一般家庭の搬入を個別で量る必要はないのではないかと。指定ごみ袋の色別に市ごとでコンテナに集め、まとめて量ればよいのではないかと。有料化するのも一つの方法だが、トラックスケールで量る場合、15kg以下の搬入者が多く中で、計量法によりkgいくらの単価で細かくは量れないことを考慮すると、量らない方が一番よいのではないかと思う。ごみ袋を指定しているのでその指定袋で搬入してもらい、コンテナに入れ、定期的にごみピットに運ぶことで効率よく、かつ安全性も確保できる。ハード面では、正門から計量棟までの距離を数百メートルとして場内に車両を溜められるスペースをとるのが理想的だが、この施設の建設時は市民がそこまで多く入ってこないことを前提にしていたため、こういった配置になっている。他のクリーンセンターでは、市民は別のところで降ろして、個別の計量機で量り、ある程度溜まったら、ごみピットに運ぶといったところもある。また、市民の安全面でいうと、ごみピットにダンピングボックスが設置されていても、転落等事故の危険性があることから、市民をごみピットへ立ち入らせていない事例もある。個別で量らないことが安全性につながるが、有料化を含め計画立てていく必要がある。

【 委 員 】 順番が異なるが、1点だけリサイクル関連の推進について話をさせてほしい。7の住民サービスのリサイクルプラザKCを周知していきたいという点について、組合はLINEアカウントを持っているか。

【 事 務 局 】 持っていない。

【 委 員 】 両市のLINEを活用するとよい。ホームページだとなかなか見にいかないが、LINEであればプッシュ式で情報を手に入れることができる。登録者数も人口を超えており、活用するとよい。

ウ 温室効果ガスの削減
意見はなし。

エ 災害時の対応

【 委 員 長 】 災害時のごみの仮置き場として、グラウンドを利用する案がある。風水害による被害が年々、非常に増えている。地震と異なり、水を含んだ廃棄物については、市民が建物外に速やかに出そうとするので、受け入れ体制の検討を追加するとよい。

【 委 員 】 東海豪雨で被害がなかったというのは過去の話で、将来については、想定外があるので分からない。13ページの表記については、「～1m嵩上げしている」に留めるとよい。ハザードマップを見ると、敷地に基準に沿った色は付いていないのか。嵩上げしているので、色が付かないのか。

【 事 務 局 】 敷地の範囲を示す枠の色と重なり、少し色が変わってしまった表記の部分もあるが、新しい焼却施設の場所については、ハザードマップの浸水深50cm程度だが、西側の破碎施設については、1m未満になっている。現状としては、浸水深1m未満の上に、1m以上嵩上げた建物がある。

【 委 員 】 現状1mというのは、1m嵩上げた後の1mなのか。またはハザードマップを作成する前の1mなのか。

【 委 員 】 ハザードマップは、各施設の排水能力を考慮して作成していない。地盤高を基に、どれだけ雨が降ったら、これぐらい水が溜まるというだけになる。

【 委 員 】 雨が多く降った場合、場所に応じたリスクがあるということか。

【 委 員 】 ハザードマップはそういうものになる。優れた排水機能のある施設や5m嵩上げしている家であったとしても、考慮しているわけではない。あくまでも地盤高で判断している。

【 委 員 】 資料に掲載しているハザードマップでは、情報不足ではないか。横から見て嵩上げしていることが分かる資料等があれば、災害時対応として相応しいと思う。

【 事 務 局 】 最近の状況から想定外のことが起こる可能性があり、さらに今後見直すことが課題と思っており、重点的に考えていきたい。

【 委 員 】 上から見た地図上の問題と、施設としてどのような対策をし、嵩上げしないといけない場所がどこなのか等の情報がないと検討するのが難しい。

オ 地元住民、構成市との連携
意見はなし。

カ 組合の運営
意見はなし。

キ 住民サービス（余熱利用施設、リサイクルプラザKC）

【 委 員 】 「リサイクルプラザKC」については、一部修繕して展示入札販売していることから、リサイクル要素も含まれるが、大半が「リユース」ではないかと思う。言葉の使い方を検討してはどうか。

【 委 員 】 ウォーターパレスKCの入館者数が、令和5年度時点でコロナ禍前の僅か6割までしか戻らないことに、マンネリ化を感じている。指定管理者が令和6年度から代わるということで期待していたが、マンネリ化に変化なく、何も変わっていない。もう少し増えてもいいのではないかと思う。事務局として、トレーニングジムは、10月19日（土）からリニューアルオープンするので、外部へ広報する良い方法がないか。

【 事 務 局 】 期待してみなさんが利用している中で、実現が遅くなっていることに対し申し訳ないと思っている。マンネリ化というのはまさにそのとおりで、ここの施設でしか行えないことをよりやっていかなければならないと思っている。これまでは基盤整備ということで、新たにデジタルサイネージを設置し、受付窓口をリニューアルするハード的な整備を進めていたが、今後は他のところでやっていない事業を行うことで、多くの人にお越しいただけるような施設にしたい。

- 【委員長】 利用者の年齢層はどのようになっているか。若い人たちは使わなくなっているのではないか。提供するサービスと利用者ニーズをしっかりと把握していかないと、誤った方向性のサービスにコストを使ってしまう可能性もあり、心配。まずは情報を発信することで、市民や構成市とのやりとりに役立っていくのではないかと思う。
- 【委員】 7ページの硬質プラスチック等の新しいリサイクルとあるが、分別したプラスチックとクリーンセンターへ搬入する硬質プラスチックとは別であることをようやく理解した。どうしてもプラスチックの分別収集に頭がいかってしまう。
- 【委員】 刈谷市では、年に1回ガイドブックをもらえるが、そこにイラスト入りでプラスチックの分別についての記載がある。
- 【委員】 その内容のプラスチックは、12ページに書いてある内容になる。7ページで伝えている硬質プラスチックは、クリーンセンターへ搬入するプラスチックを指し示している。
- 【事務局】 衣装ケースについては、分別してリサイクル回収している。他の洗面器等の硬質プラスチックについては、破碎処理により細かくしてから焼却処分している。他にリサイクル回収できるものがないか、という観点から7ページに載せている。
- 【委員】 ここで言っている硬質プラスチックとは、不燃ごみ袋で回収しているプラスチックのことで、別に新たに収集しようということ合っているか。
- 【委員】 不燃ごみ袋で回収したプラスチックは、クリーンセンターに搬入されるのか。
- 【委員】 分別した硬質プラスチックは、クリーンセンターには搬入していない。リサイクルのために刈谷市が業者へ出している。ここで言っている硬質プラスチックは不燃物の袋に入れずに、直接、クリーンセンターへ個人搬入されるプラスチックのことである。令和4年9月から衣装ケースを別に集めているが、リサイクル回収できる硬質プラスチックを新たに検討していくことが必要。
- 【委員】 衣装ケースは、不燃ごみ袋に入らないので、粗大ごみと捉えている。新たに硬質プラスチックのごみをクリーンセンターへ搬入することを広めるには、工夫する必要があると思う。
- 【委員長】 市外に住んでいると、クリーンセンターに搬入する硬質プラスチックとその他のプラスチックとの違いが分かりづらい。燃えるごみとして入ってきているプラスチックが多く、二酸化炭素の排出量やエネルギーの問題にも大きく関わっていくため、いかに分別してリサイクルすることで燃やすプラスチック量を減らすことができるかが課題となる。搬入者がプラスチックを分別せずに燃えるごみとしてクリーンセンターへ持ってくることも課題の一つだと思うので、同時に解決する方法も長期的に考えていくことも大事かと思った。

3 事務局からの連絡

- 【事務局】 本日の策定委員会の資料等については、組合ホームページに掲載する予定。次回の第3回選定委員会は、令和7年1月23日（木）午後2時から予定している。後日、改めて案内する予定。

閉会